

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身

印刷 内村印刷株式会社

- 第59回神奈川県身体障害者福祉大会……………①
- 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議……………②
- 国木田独歩と茅ヶ崎（茅ヶ崎市）……………③
- 小田原の肢体障害者福祉会の実情（小田原市）……………③
- 富士登山終わる……………④
- 第6回神奈川県障害者文化・芸術祭案内……………④

- 身体障害者手帳の認定基準が変わりました……………⑤
- みんなの広場（厚木市）……………⑤
- 編集委員に就任して一言……………⑥
- 県身連事業予定（10月～1月）……………⑥
- 編集室から……………⑥

大会宣言

（前文省略）

- 一、私たちは、条約理念に基づく障害関連のあらゆる分野が着実に施行され障害者福祉の向上が図られるよう、働きかけていきます。
- 一、私たちは、障害者や障害関係団体の意見が十分に反映された差別禁止条例の制定に向けた取り組みが進められるよう、働きかけていきます
- 一、私たちは、障害者の防災対策や避難所における対応など、災害時の障害者への支援体制の充実が図られるよう、働きかけていきます。
- 一、私たちは、いつでもどこでも安心して暮らせる地域社会を創造するために、関係者との連携を強めながら、自らの力を十分に発揮するよう努力します。

平成二十六年九月七日（日）、第五十九回神奈川県身体障害者福祉大会が、綾瀬市文化会館を会場に七〇〇余名の参加者が一同に会し盛大に開催されました。午前中の式典では、主催者を代表して県身連戸井田会長、神奈川県吉川副知事のあいさつの後、地元綾瀬市の笠間市長から歓迎のことばをいただき、県副知事及び県身連会長より、受賞者に対し表彰が行われました。午後からは、綾北マキユリ・ウインズによる演奏が披露され、盛会のうち終了いたしました。

次回開催地は、座間市です。

神奈川県知事表彰（敬称略）

○自立更生者

長谷川 幸作（厚木市）

○更生援護功労者

丸山 典（横須賀市）

今野 妙子（横須賀市）

竹田 雍子（厚木市）

○県身連会長表彰（敬称略）

○表彰

石井 計子（秦野市）
 武尾 信子（秦野市）



〈戸井田会長あいさつ〉

○感謝状

- 小賀坂 郁男（海老名市）
- 橘川 妙子（二宮町）
- 加藤 興和（座間市）
- 佐藤 政夫（大磯町）
- 藤沼 喜之（開成町）
- 土屋 和代（相模原市）
- 西谷 ちり子（大和市）
- 田畑 ふみ子（海老名市）
- 永沢 光雄（海老名市）
- 百田 昇（南足柄市）
- 金子 勝壽（綾瀬市）
- 金子 寿（綾瀬市）
- 関野 光由（松田町）

第六十回
神奈川県身体障害者福祉大会

期日 平成二十七年十月四日（日）
 会場 座間市文化会館 大ホール

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

目的

少子高齢化の進行、ユニバーサルデザインに関する意識の高まり、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」の制定など、社会状況の変化に的確に対応するため、平成20年12月に、「福祉の街づくり条例」を制定し、名称も新たに「みんなのバリアフリー街づくり条例」とした。

この改正では、新たに、県民・事業者・行政が、それぞれの責務（第3条～5条）を踏まえて、協働してバリアフリーの街づくりの取組みを進めること（第6条）、障害者等の意見を施策に反映（第8条）させることや、施策を適時に、かつ適切な方法により検討を加える（第9条）ことを条例に盛り込み、実効性ある条例とすることとしている。

そこで、こうした改正条例に基づき、バリアフリーの街づくり施策に障害者等の意見を反映するため、県民から幅広く意見を収集し、これを踏まえた取組みを検討する仕組みとして、平成22年10月に、障害者等団体及び関係団体、事業者団体、学識経験者、県民からの公募委員から構成される「神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議」（以下、「県民会議」という。）を設置した。

提案策定の流れ

第一期（平成22年10月～平成24年9月）となる県民会議では、県民意見を収集し、これらを踏まえ、行政や事業者だけでなく県民も含め協働した取組みを提案・発信すべく議論を行った。

具体的には、幅広く集められた県民意見について、「ハード整備」「ソフト面」「普及啓発」「優良事例」に区分し、現状・対応状況を整理した上で、「時宜にかなったもの」「広域アピールが可能なもの」「心のバリアフリーを広く訴え、ユニバーサルデザインの推進につながるもの」といった視点から、具体的な提案が可能な形に整理、グループ化した。

その結果、グループ化された提案ごとに、県民、事業者、行政が協働して取り組むべきことをまとめ、バリアフリーの街づくりの推進につなげることにした。また、本提案の中では、県民会議構成員の団体や事業者からの取組事例を紹介し、行動や実践方法を明確化している。

今後は、県民会議の構成団体を中心に、本提案に基づいた取組みを進めていく。なお、県民会議では、これらの取組みを支援するため、県民理解に向けた情報発信を行い、また取組み成果のモニタリングを通して提案内容の検証を行うこととする。

提案内容の詳細

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議では、県民の皆様のご意見をもとに、バリアフリーの街づくりに向けて、県民・事業者・行政が協働して取り組むべきことを、提案書「みんなで創るバリアフリーの街づくり」に、5つのテーマとしてまとめました。

(1)バリアフリー教育の充実

～障害者理解やバリアフリーの必要性、思いやりの心を自然に身につける教育の充実～

- ・小中学生向けバリアフリー教育の充実
- ・高校におけるバリアフリー教育モデル事業の実施
- ・地域での自発的なバリアフリー教育の実施
- ・協力と連携の包括協定を活用した事業者との共同事業の実施

(2)多様な人が住まう「街」への気づき、障害者理解の促進

～障害当事者の相互理解を越え、多様な人が住むのが当然の街づくり～

- ・障害当事者間の課題の相互理解、点字ブロック上の障害物撤去
- ・障害者用駐車場の利用方法
- ・街中のトイレの情報提供やオープン利用に取り組むNPO法人との協働事業

(3)安心して出かけられる「街」の実現を目指して

～日常的な危険回避から、災害発生時にも移動や社会参加が確保される街へ～

- ・バリアフリー関連情報充実
- ・駅、道路等の安全な移動経路の確保
- ・災害時を見据えた安全なハード運用の確保と情報保証
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

(4)条例適合率・遵守率向上に向けた取組み

～条例の実効性を高め、遵守させる仕組みづくり～

- ・整備基準の見直し、制度面を含めた事業者等の動機付け向上策検討

(5)施設の計画段階における関係者の参画

～障害者、高齢者、子どもなど多様な視点からの「みんなのための施設整備」～

- ・公的な施設整備での率先的な取組み

国木田独歩と茅ヶ崎

茅ヶ崎市 村上禮之助

市町村のページ

湘南海岸、国道一三四号線沿いに、県立茅ヶ崎西浜高校がある。この周辺は、明治の頃までは砂丘地帯で、海にも近く気候が温暖で、明治三十一年茅ヶ崎駅の開設にもない別荘地となり、また、サナトリウム（結核療養所）に好適と翌明治三十二年東京の医師高田畹安により、後に「東洋一」のサナトリウムといわれた結核療養所「南湖院」を建てた。名称の「南湖院」は、地名の「南湖」とつたものだが、「なんこいん」と呼称していた。当時、湘南海岸には茅ヶ崎の他に「逗子」「鎌倉」にもサナトリウムがあったことがわかる。明治四十一年二月、銚子・湯河原などで結核の療養をしていた文豪「国木田独歩」が重症患者として「南湖院」に入院した。「独歩」は療養に努めたが、「茅ヶ崎の砂は、鎌倉に比べ黒く、粒は大なり」また、「茅ヶ崎の空気は、荒らし、肺を病む人には適せざる如し」



などの言葉を残し、その年の六月没した。享年三十九歳。絶筆は「ニ老人」であった。「独歩」が「南湖院」に入院すると、その症状を「読売新聞」が連載するところとなり、「南湖院」と別荘「茅ヶ崎」の知名度が上がったと言われている。明治の文豪「国木田独歩」が、僅かな時期ではあるが、「茅ヶ崎」で療養生活をしていた事を知り、まとめてみました。《参考資料》フリー百科事典「ウィキペディア」「茅ヶ崎市史」第五巻

小田原の肢体障害者福祉会の実情

小田原市 近藤 匡

現在、小田原に肢体障害者が何名いるのか分かりませんが、推定では約三千名以上いると思われます。かつては、小田原市の肢体の会員は三百何十名ほどいましたが、年々少なくなり、平成二十六年現在、肢体障害者福祉会の会員は四十八名、それも高齢者になっていきます。聴覚障害者、視覚障害者の会員も減少の一途をたどっています。また、会員平均年齢も高齢化していて、六十代後半。肢体障害者福祉会老人会？なぜ入会者が無いのか私なりに分析してみました。その結果が次のような内容になりました。

- 一、新入会員の紹介がない
- 二、年々会員が死亡してしまふ。(本年は、会員死亡二名)
- 三、福祉課では、個人情報秘密保護法を立てに、肢体障害者の名前、TEL、住所等は教えない。
- 四、小田原市の障害者慰安旅行が、廃止になりました。旅行の中でこれはと思う人を見つけたら、私たちが会員の良さをアピールして入会を勧められます。

た。それもできません。五、小田原市が、国、県の行う行事を広報に載せるのみ。その他の連絡はナシ。以上の理由により、小田原の肢体障害者福祉会は衰退に向かつて走っています。また、町を歩いている障害者を見つけても、高齢者が多く見受けられます。前文のとおり会長である私も七十歳になります。階段を下りる時、手すりがないと降りられません。そろそろ杖を持つようなかなと思いはじめました。会の運営にも大きな問題が出ています。まず、役員が歩行困難と共に色々な病気（年をとると当たり前）になり、役員会に出なくなりはじめ、会の進行に妨げを生じております。何しろ会員四十八名のなかで役員のなり手が無く、困ったことです。私も年です。で、次期会長を育てたいのですが、候補者がいません。小田原市の近隣の市町村の町では、障害者福祉会が解散したり、県身連を退会しているようです。このままでは会の運営は成り立たなくなるのが見えてまいりました。なにか良い方法があれば、県身連の市町村の方々、教え



事業案内・報告

合目の天候は、風が若干強く吹いていましたが、雲がほとんど無く日差しがとて
も近く感じるほど良い天気
でした。平日のためか登山
客がそれほど多くない印象
でしたが、登山道付近には
世界遺産の影響か外国の
方々をたくさん見かけまし
た。

富士登山終わる
毎年恒例の身体障
害者富士登山を七月
十六日(水)に行いま
した。総勢百二十九名、県内各
地からバス四台で分乗し、十時
頃全車が富士ビジターセンター
に集合しました。そこで開会式
を行った後、再びバスに戻り、
富士スバルラインを通過し十一
時頃五合目に到着しました。五



五合目を出発すると、最初は
平地が続く、そこから右には山
頂、左には富士五湖がはつきり
と見え、山頂付近にはまだ雪が
残っていて、とても綺麗でした。
今回七合目に行った方はいませ
んどでしたが、六合目を目指した
人は全員無事に六合目に到着し、
そこでお昼ご飯を食べ、無事に
五合目に下山しました。今年か
ら入山料の制度が設けられてお
り、障害者の方は任意で支払う
という内容でしたが、多くの方
が入山料(千円)を納めて、記
念のバッジをいただきました。
二時頃、五合目を出発して無事
に富士登山を終えました。

第六回神奈川県障害者

文化・芸術祭

今年度の文化・芸術祭は、十
二月五日〜七日にかけて、ハー
モニーホール座間(座間市文化
会館)にて開催いたします。

この文化・芸術祭は、障害者
が地域で活動している音楽・ダ
ンスなどの発表と書道・写真・
絵画・手芸などの展示をしてい
ます。日ごろから活動している
障害者の文化活動の成果を発表
する場として実施していきますの
で、是非皆さんでお越しくださ
い。

【日時】

平成二十六年

十二月五日(木)〜九日(日)

午前十時〜午後四時

※詳細

12/5 作品展示(ギャラリー)

午後一時〜午後四時

12/6 作品展示(ギャラリー)

午前十時〜午後四時

12/7 作品展示(ギャラリー)

午前十時〜午後三時

舞台発表(小ホール)

午後十二時〜午後四時

【会場】

ハーモニーホール
座間 ギャラリー・小ホール
※入退場は自由です

7日(日) 出演

特別ゲスト
木村 りえ・りさ

木村 りえ(姉)
フリス女子学院大
学音楽学部音楽学
科ピアノ専攻卒業
、同大学ファイブ
ローズメンバー。
2009年山田和真
指揮神奈川県フィル
ハーモニー管弦楽
団に所属。

木村 りさ(妹)
国立音楽大学音楽
学部音楽学科ピアノ
専攻卒業。2008年
第8回日本国際ピアノ
コンクール第3位ファイ
ナリストとして大阪
センターオーガニ
ズとモーヴェルハピア
ノ音楽会を共演、堺
市長賞を受賞し出演。

りえ・りさ Duo

2008年県会館サロコンサート、皇后陛下御
前にて演奏。音楽への愛がこもった真摯な演奏
とウィットに富んだ語りが「聴かれる演奏家」と
各地で好評。

文化芸術祭では、出演・出展
者を募集しています。

出演・出展に関する問合せは、
神奈川県障害者社会参加推進セ
ンターまでお願いします。

《推進センター事務局》

TEL〇四五―三二一―八七四四

FAX〇四五―三二一―六八六〇

【申込期限】

平成二十六年

十月二十七日(月)まで

平成26年4月から ペースメーカーや人口関節等を入れた方に対する 身体障害者手帳の認定基準が変わりました

医療技術の進歩により、ペースメーカー等※1や人工関節等※2を入れても大きな支障がなく日常生活を送ることができる方が多くなったことを踏まえ、医学的見地から検討を行い、平成26年4月から身体障害者手帳の認定基準を見直すこととしました。

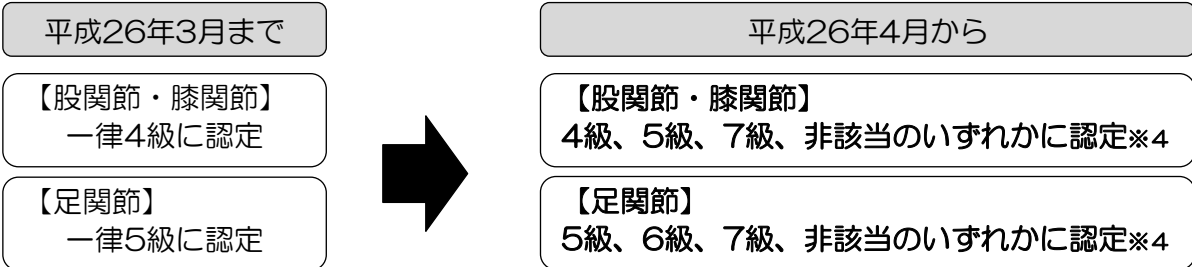
※1 体内植え込み型除細動器(ICD)を含む ※2 人口骨頭を含む

◎ペースメーカー等を入れた方（心臓機能障害）



※3 ペースメーカー等への依存度や日常生活活動の制限の程度に応じて認定

◎人口関節等を入れた方（肢体不自由）



※4 術後の経過の安定した時点での関節可動域等に応じて認定

みんなの広場

「民謡の集い」を観賞

厚木市 開沼クニ子

厚木市民謡協会結成三十五周年記念を六月二十二日(日)厚木市文化会館大ホールで開催するにあたり、厚木市民謡協会長の立脇健治様よりお話があり、同協会所属の役員で身障協会副会長の畑中靖敏さんより招待のお誘いがありましたので、本年度の文化部の事業の一端として、民謡の集い参加募集を致しました。文化部長堀田緑さんを始め、会員の皆様のご協力で協会員及び付添で百十名の参席となり、お席は中央の指定席でした。当日は文化部と三役を始め、受付、弁当、車椅子案内等の業務を行い、開演となりました。来賓のご挨拶に厚木市長小林常良様、衆議院議員義家弘介様、県議会議員堀江則之様、文化協会会長櫻田稔様、友好都市横手民謡同好会会長佐々木重造様よりありました。一部は、十五団体の民謡の会主を始め会員の唄、三味

線、尺八、舞踊と続き、二部はみんなで唄おうの民謡協会の皆さん約百名が舞台上上がり、東北民謡の斎太郎節を始めメドレーを、三部は横手の皆さんの唄で秋田おぼこ、正調生保内節等素晴らしい唄声が続き、四部ではバラエティーコーナーで、ギター、尺八、三味線、二胡の生演奏にて「見上げてごらん夜の星を」、日本の唄やメドレーでは富士山、花は咲く、五部は会主のコーナーへと続き、フィナーレは相馬盆唄を会場の約六〇〇名の皆さんと合唱で、ふるりの山や川の情景を浮かべながら、本当に楽しい一日でした。生演奏での津軽三味線合奏、尺八、太鼓に合わせてふる里民謡、舞踊を観たり聞いたり出来ましたこと、皆様によるこんでいただきました。厚木市民謡協会の益々のご活躍をお祈りするとともに、文化部の皆さん、お手伝いをいただいた皆様に感謝いたします。

県身連事業予定

- <10月>
 - 5日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (県立体育センター)
 - 7日(火) 肢体部会役員会 (県社会福祉会館)
 - 15日(水) 社会参加推進協議会 (県社会福祉会館)
 - 19日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (麻溝公園競技場ほか)
 - 19日(日) 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園競技場ほか)
 - 26日(日) うきうきスポーツデイ (運動会) (座間市総合福祉センター)
 - 28日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉会館)
- <11月>
 - 1日(土) 第14回全国障害者スポーツ大会 (長崎県)
 - ~3日(月)
 - 8日(土) バリアフリーフェスタ神奈川参加 (アリオ橋本※相模原市)
 - 16日(日) 視力部会女性部学習会 (藤沢鶴沼公民館)
 - 21日(金) 肢体部会研修会 (伊豆潮風館)
 - ~22日(土)
 - 30日(日) 肢体部会ダーツ大会 (藤沢市太陽の家体育館)
- <12月>
 - 5日(金) 障害者文化・芸術祭 (ハーモニーホール座間)
 - ~7日(日)
 - 14日(日) 肢体部会青年部クリスマス集い (平塚市福祉会館)
 - 23日(火) 視力部会青年部ボウリング大会 (厚木プラザボウル)
- <1月>
 - 30日(金) 肢体部会女性部教養講座・部長会 (藤沢市民会館)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
 045-311-8744
 [推進センター]
 FAX：045-316-6860
http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa_sinsho

編集委員に就任して一言!

身障かながわの編集委員は三期目だと思えます。中身が良く、皆様方のお役にたつ情報をお伝えしたいと考えます。

第一ブロック

鈴木 輝行 (鎌倉市)

私、本年度も編集委を引き受ける事になりました。二年間よろしくお願いたします。

第二ブロック

開沼クミ子 (厚木市)

今度、私編集委員となり、二度目の役員となりました。まだまだ分からない事ばかりですが、皆さまのお力をおかりしながら務めたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

第三ブロック

荒川 スイ (茅ヶ崎市)

今年度も引き続きやらせていただきます。会員の皆様に喜んで見ていただき、情報を伝える事に頑張りたいと思います。

第四ブロック

米山 昇 (伊勢原市)



第五ブロック

(未就任)

突然前任者が辞めたとの事で急遽編集委員を頼まれ、この四月から肢體協会に入会しました。原稿の依頼などのように書けば皆様の期待に添えるのかと不安で一杯です。

第六ブロック

岸野 暎子 (相模原市)

再度、編集委員を引き受けることにしました。障害者の活動や思いが伝わる紙面作りを考えていきます。よろしくお願いたします。

肢體部会

種田多化子 (藤沢市)

今期も編集委員長を務めさせて頂くことになりました。今後も会員の皆様に親しまれる会報作りに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

視力部会

新井 修身 (座間市)

身障かながわの事務担当をします。よろしくお願いたします。

大野 善行 (事務局)

編集室から

身障かながわの編集委員になり、数年が経ちました。過去には何回か投稿をさせて頂きました。その内容が皆様方のお役にたつたか否か分かりませんが、「さんぽみち」で六回連続して投稿させて頂き、鎌倉市のアピールが出来て良かったと思っております。

話は変わりますが、編集委員会は原則一月を除き発行日の十五日の次週の火曜日、午後一時三十分から行われているのはご存知でしょうか？ また、県身連の事務局として、大野善行氏が長い間、担当者です。我々、編集委員としても大変感謝しております。

これからも、皆様方にお役に立つ広報を作成していきたいと考えております。県民の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

編集委員 鈴木 輝行 (鎌倉市)